

日活時代映画
落花劍光録
第二篇

原作者 三上於菟吉
脚色者 前原武志
監督者 清瀬英治郎
主演 澤田清
淺香新八郎
寺島貢
中村紅果
櫻井京子
常盤操子
澤蘭子

さて不良旗本山田主税は、能善寺から妾をかくした戀やつと思ひ叶つて茶屋千秋の娘おみよを駕に乗せて屋し五右衛門傳七は非願千人敷へ連れ歸り、顔を袖に斬りの犯人としてお小姓を



くして恥しがる手を握つて求め探す、しかも八ッ橋お引き寄せて見ると意外、こ小姓指方龍之丞が心に抱くれが八ッ橋お小姓の變装であつた。
此處に亂闘は開始され辛うじて主税は逃れたが、無念やる方なく、よせばよいのに待ち受けて斬りつけると

近日常平館上映

西洋丸昇軒
電話四三九番

日曜歌壇

白天齋

紙せまく筆さき廣き東日は、赤心こめて世のためには、世のために歌壇を設けて東日は、心をみがく魁にせん

思出

仙臺 佐々木喜代子
松ヶ岡 主と陸みし寫し繪は、思出ふかく残し置くなり

二丁目 渡邊穂都子

夕景を一人窓によりかゝり、しみ〜と見て涙ぐまじき

正装の美人と見たるこの胸は、病をうらみ涙流るゝ

平町 西丸八重子

一日の忙しき事務に携はり、終りし時の心よきかな

疲れたる身をば床に休めしが、今日一日を思ひて眼れず

胡摩澤 中野コト

夕暮は夕刊の聲をたのしみに、讀書などしてこれを持つ我

一日のありし事をば我々に、知らず夕刊嬉しく思ふ

友を思ふ

八木澤生

春の宵！
何と自然の言葉だろう若かりし頃の春の宵！
友と私とたゞ二人過去を語り
現在を語り
将来を語りつゝ、歩むともなく歩みながら笑らつたり

妙に悲觀したり
その友は今何處に青白いこの月光をながめて居るや
日々友を思ふ
友も又我を思ふかあ、なづかしの友よ！
何時逢はれ、事かこれと思ふ時

淋しく
又悲しく
眼に露光る

才穂小路 落花亭

雨は降る 我は一人で茅屋に、淋しき一夜又も送りぬ

自炊者 左に手桶右に米、御飯たいたり汁をたいたり

才穂小路 眞優美

涙出でフト嘲けりて見たくなり、聲出し笑う後の淋しさ

淋しとて泣けば抱きし母の如き、人に渴えて悲しみの湧く

三週年紀念!!!

總て四季の洗濯物の……

……御用命は……迅速

叮嚀なる……大倉へ

平町紺屋町公園下

大倉洗濯店
店主 大山房義

生徒募集

一、本科生 男女百名
尋常小學校卒業員並ニ師範學校入學準備
一、普通科第一學年生 百五十名
中學校初年級上同一程度
◎高等小學校卒業生ハ無試験ニテ願書到着順ニ入學ヲ許可ス
一、募集期限 三月三十一日限り
平町六間門
磐城佑賢學舎

規則書進呈

春のお調度品

◎又々珍柄澤山入荷致しました

平町三丁目

三井呉服店
電話三八番 七五二番

紙類の御注文は

△△△ 一直線に是非小谷へ

◎荷札 封筒 紙袋製造 外洋紙販賣

小谷製袋店
平町南町
電話一四七番

イスとテーブルの御用命は
本箱とツクエ

丸ほん

三丁目・電三五九
月見町工場・電七三番

流下薬 (秘密に譲りませぬ) 無効返金
月やく止まり心配の人は安心確實!!!
無害に流下し目的を達する當局發賣の強烈特殊薬をお用ひなさい
◎某店の如く無責任薬は賣らぬ!
高き醫療より安い藥劑師へ
特に平町田町 宇佐美藥局に
◎醫藥分業の標語募集
一等五圓蓄貯債券 以下略 四月卅日迄用紙葉書
◎塗料廉賣 (クレオソール油 一圓二〇錢
一圓廿五錢)

平町紺屋町(縣社通り)
美味で評判の
電話四六〇番

食パン 一斤 十六錢
ミッドラム
アマンド
クリム
ウヅマキ
一ツ五錢

マツモトヤ
四丁目・電二一四